

2012年12月14日

各位

JACET 教育問題研究会  
代表 久村 研

「語学教育エキスポ 2013」開催について（連絡）

時下ますます、ご清栄のこととお慶びを申し上げます。

さて、JACET 教育問題研究会では、神保尚武（早稲田大学）科研費研究と西山教行（京都大学）科研費研究の支援を受けて 2012 年度に実施した調査・研究に関する成果報告会を下記の要領で開催することとなりました。この研究発表集会は、昨年までは「ジョイント研究発表会」と称していましたが、集会への賛同者が増加したため、これを機にさらに多くの関係者の参集を図ることを目的として、名称を「語学教育エキスポ 2013」と変更いたしました。この集会では、現在、6つのシンポジウム、1つのワークショップ、そして 15 枠程度の個人研究発表の実施を予定しております。シンポジウムは、すべて CEFR（外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠）の日本への文脈化の研究と関係するものです。語学教育エキスポ 2013 の大会テーマは、「日本において最適な外国語教育法／学習法の開発を目指して」です。

共催団体は以下のとおりです：

神保尚武科研（早稲田大学）基盤研究（B）研究課題：「英語教師の成長に関わる枠組みの総合的研究」

西山教行科研（京都大学）基盤研究（A）研究課題：「新しい言語教育観に基づいた複数の外国語教育で使用できる共通言語教育枠の総合研究」

林田理恵科研（大阪大学）基盤研究（B）研究課題「大学間、高等学校－大学間ロシア語教育ネットワークの確立」

境一三科研（慶應義塾大学）基盤研究（A）「外国語一貫教育における複言語・複文化能力育成に関する研究」

大崎さつき科研（創価大学）基盤研究（C）研究課題：「メタ認知促進のための学習支援法の開発と実践的活用に関する統合的研究」

清田洋一科研（明星大学）基盤研究（C）研究課題：「コミュニケーション・ランゲージ・ティーチングの日本への文脈化の研究」

砂岡和子科研（早稲田大学）基盤研究（C）研究課題：「東アジア複言語コミュニケーション・データベースの構築」

高木亜希子科研（青山学院大学）若手研究（B）研究課題：「英語科教員養成における電子ティーチング・ポートフォリオの活用」

藤尾美佐科研（東洋大学）基盤研究（C）研究課題：「ビジネス英語能力の明確化…大学生のための Can-Do List 作成」

日本メディア英語学会：代表 染谷泰正（関西大学）

日豪NZ教育文化学会（JANTA）：会長 久村研（田園調布学園大学）

日本ロシア語教育研究会：代表 黒岩幸子（岩手県立大学）

日本イスパニヤ学会：会長／代表理事 野谷文昭（東京大学）

中国語教育学会：代表 佐藤富士雄（中央大学）

朝鮮語教育研究会：世話人代表 長谷川由紀子（九州産業大学）

日本フランス語教育学会：会長 古石篤子（慶應義塾大学）

日本独文学会ドイツ語教育部会：部会長 境一三（慶應義塾大学）

日本リメディアル教育学会英語部会：部会長 酒井志延（千葉商科大学）

各共催団体におかれましては、会員にお知らせいただければ幸いです。

## 語学教育エキスポ 2013

【大会委員長】 神保尚武（早稲田大学）

【日時】 2013年3月17日（日）

【場所】 早稲田大学 11号館 4階会議場

【プログラム】

〔406 会議室〕

09:00-10:30 シンポジウム 1

言語教育課程において学ぶ学生または初任者プログラムにいる教師が英語教師として成長するための気づきの手がかりとなるポートフォリオ(J-POSTL)の使用について（ラウンドテーブル）

〔司会・提案〕 高木亜希子（青山学院大学）

〔シンポジスト〕 遠藤雪枝（清泉女子大学）、藤井彰子（聖心女子大学）

10:40-12:10 シンポジウム 2

生徒が英語力を向上させる時の気づきに資する CAN-DO リストの開発、利用について

〔司会・提案〕 神保尚武（早稲田大学）

〔シンポジスト〕 清田洋一（明星大学）、臼井芳子（獨協大学）、醍醐路子（東京都豊島区立駒込中学校校長）、天野正明（群馬県教育委員会、予定）

12:10-13:10 昼食休憩

13:10-14:40 シンポジウム 3

中堅の教員が教員としてのさらなる成長を目指す場合、その成長の気づきに資するポートフォリオ (J-POTL)の使用はどうあるべきか -2012年に実施した全国調査（6000名を超える中高教師の回答）の結果をもとに-

〔司会・提案〕 酒井志延（千葉商科大学）

〔シンポジスト〕 平木裕（文科省教科調査官）、青山彰（東京都立国際高校校長、全国高等学校校長会会長）、跡部智（慶應義塾普通部教諭）〔指定討論者〕 深澤清治（広島大学）

14:40-15:00 休憩

15:00-17:00 シンポジウム 4

英語以外の外国語教育について -2012年に実施した全国調査（1万6人を超える学生の回答）の結果の中間報告をもとに-

〔司会〕 境一三（慶應義塾大学）

〔シンポジスト〕 砂岡和子（早稲田大学）、大木充（京都大学）、塚原信行（京都大学）、長谷川由紀子（九州産業大学）、〔指定討論者〕 姫田麻利子（大東文化大学）

〔407 会議室〕

09:00-10:30 個人研究発表枠 1

10:40-12:10 シンポジウム 5

「英語教育における翻訳(TILT : Translation and Interpreting in Language Teaching)の意義と位置づけ—CEFR による新たな英語力の定義に関連して —」通訳翻訳をコミュニケーションのための言語活動として初めて正当に位置付けた「ヨーロッパ言語共通参照枠」に言及しながら、我が国の大学教育における通訳翻訳教育の今日的意義と位置づけについて議論する。

〔シンポジスト〕 染谷泰正 (関西大学), 河原清志 (金城学院大学), 山本成代 (創価大学)

12:10-13:10 昼食休憩

13:10-14:40 シンポジウム 6

異文化間コミュニケーション能力をどのように養成するか - 「複言語・複文化アプローチ参照枠 (CARAP)」や「異文化間コミュニケーション言語教育 (iCLT)」の活用について-

〔司会〕 久村研 (田園調布学園大学)

〔シンポジスト〕 中山夏恵 (共愛学園前橋国際大学), 大崎さつき (創価大学), 栗原文子 (中央大学)

14:40-15:00 休憩

15:00-17:00 ビジネス英語能力育成のためのコンテスト型ワークショップ

第 1 部 : 英語ビジネスプレゼンテーションの指導例。

第 2 部 : 学生による英語ビジネスプレゼンテーションのコンテスト。

第 3 部 : コンテストの結果発表とビジネスマンによる講評およびまとめ。

〔コーディネーター〕 藤尾美佐 (東洋大学)

〔408 会議室〕

09:00-10:30 個人研究発表枠 2

10:40-12:10 個人研究発表枠 3

12:10-13:10 昼食休憩

13:10-14:40 個人研究発表枠 4

14:40-15:00 休憩

15:00-17:00 個人研究発表枠 5

【参加費】 無料

【発表申込】 研究発表を希望される方は、2013年1月12日(土)までに、日本語で200字以内の発表概要を添えて、shien@cuc.ac.jp までお申込みください。報告時間は25分程度です。発表申込受理の返信が1週間以内に来ない場合は、shiensakai@gmail.com までご請求ください。審査のうえ、1月31日(木)までに、発表可否の連絡を差し上げます。

【参加申込】語学教育エキスポ 2013 に参加を希望する場合, 3月10日(日)までに, shien@cuc.ac.jp までお申し込みください。参加証をお送りします。発表予稿集は参加証と引き替えにお渡しします。予稿集をご希望の方は早めに参加をお申し込みください。予稿集準備部数には限りがあります。

その他, 「語学教育エキスポ 2013」についてのお問い合わせは酒井志延 (shien@cuc.ac.jp) までお願いします。

以上